



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東  
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 武志  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部担当 (氏名) 久米沢 賢尚 (TEL) 044-966-1134  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,986	18.7	545	△18.6	861	△15.1	△842	ー
28年3月期第1四半期	4,200	3.0	670	16.8	1,014	16.9	720	27.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,601百万円(ー%) 28年3月期第1四半期 1,372百万円(65.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△10.90	ー
28年3月期第1四半期	9.32	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	66,702	20,380	30.6
28年3月期	72,335	22,381	30.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 20,380百万円 28年3月期 22,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	2.50	ー	3.00	5.50
29年3月期	ー	2.50	ー	2.50	5.00
29年3月期(予想)	ー	2.50	ー	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,960	12.1	360	△73.6	750	△59.3	△1,080	ー	△13.97
通期	19,750	5.2	610	△69.3	1,080	△62.2	2,540	27.8	32.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	83,522,024株	28年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	6,630,709株	28年3月期	6,229,254株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	77,283,661株	28年3月期1Q	77,298,558株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費はおおむね横ばいに推移いたしました。

このような状況の下、当社は設備投資により取得した新施設を新たな成長の基盤へ育てるとともに、既存事業の更なる発展に努めました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比1日増となる16日開催されました。6月には重賞「関東オークス」が開催され盛り上がりを見せました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、前年同様26日実施されました。新たな顧客の獲得を目指し、ファミリー層をターゲットにしたイベントを毎週末に場内で開催したところ、本年2月にオープンした商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」の利用客をはじめ、多くのお客様で賑わいました。なお、本年11月に開催されるダート競馬の祭典「JBC競走」に向けて、場内整備を進めております。船橋競馬は、前年同様15日開催されました。昨年6月にスタートしたナイトー競馬「ハートビートナイトー」は、本年は4月からスタートいたしました。5月にはビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日には恒例の「おうまフェス2016～親子であそぼ。～」を近隣商業施設と主催し好評を博しました。なお、本年4月にオープンした複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」での発売は84日実施されました。施設内の相互利用はもとより、競輪ファン、オートレースファンが競馬場を訪れるなど相乗効果を発揮いたしております。なお、JRAの場外発売「J-PLACE船橋」は前年同様13日実施されました。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、外部営業による新規コンペを獲得いたしました。悪天候等の影響により入場者は減少いたしました。よみうりゴルフ倶楽部は、自主コンペが堅調に推移したものの、悪天候等の影響により入場者は減少いたしました。なお、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携したクラブハウスレストランのイベント「ほたるの宵ディナー」を本年も開催し、好評をいただきました。静岡よみうりカントリークラブは、予約の入りにくい時間を、昨年10月より強化しているインターネット予約を通じて紹介するなどしたところ、入場者は増加いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、昼食付料金施策が順調に推移し、入場者は増加いたしました。

遊園地部門の遊園地では、本年3月にオープンした「グッジョバ!!」が引き続き好評を博し、計画を上回るお客様で賑わっております。イベントは、6回目を数えるゴールデンウィークの「全国ご当地大グルメ祭2016」や、初夏に開催した恒例のほたる観賞イベント「ほたるの宵」等が盛り上がりを見せました。なお、7月には「グッジョバ!!」エリア内に、ロサンゼルス発のフローズンヨーグルトショップ「ピンクベリー」を併設したレストラン「グッジョバ!!キッチン」がオープンいたしました。カップルやファミリーなど多様な層のお客様に居心地良く食事を楽しんで頂ける空間を演出し、好評を博しております。これらの結果、入園者は大幅に増加いたしました。温浴施設「丘の湯」は、「グッジョバ!!」オープンの効果により、遊園地から来場するお客様が順調に推移し、入場者は前年並みに推移いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストラン「天安」では「ほたるの宵」と連携した恒例の「天安 ほたるの宵 特別ディナー」を実施したほか、プラザ内のベーカリーや和菓子店においても「ほたるの宵」にちなんだ商品を販売し、好評を博しました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、柑橘類などの替り湯イベント「彩湯」が好評でリピーターの確保に奏功したほか、丘の湯からのお客様が増加したことなどにより、5月には過去最高の入場者を記録するなど、入場者は増加いたしました。ゴルフガーデン(練習場)は、営業日数が減少したことなどにより、入場者は減少いたしました。親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、平日は時間無制限で遊べる「平日フリーパス」の販売促進が好調に推移し、入場者は前年並みに推移いたしました。商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、様々なイベントが好評を博した結果、入場者は増加いたしました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は44億9千2百万円(前年同四半期比21.6%増)となりました。

また、不動産事業の売上高は3億5千万円(同2.9%増)、サポートサービス事業の売上高は6億5千4百万円(同13.3%増)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は49億8千6百万円(前年同四半期比18.7%増)、営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより5億4千5百万円(同18.6%減)、経常利益は8億6千1百万円(同15.1%減)となりましたが、船橋オートレース場の諸資産の減損損失、撤去費を特別損失に計上したことなどにより、8億4千2百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同四半期は7億2千万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当社の所有する船橋オートレース場の諸資産に関して関係各所と協議を進めて参りました結果、当社において工  
作物等を収去のうえ、土地所有者に明け渡すことで合意に達しました。これに伴い、当第1四半期連結累計期間に  
固定資産の減損損失1,356,662千円及び撤去費1,209,495千円を特別損失に計上しております。

なお、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、おおむね計画通りに推移するものと見込ん  
でいるため、平成28年5月31日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応  
報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属  
設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える  
影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四  
半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,040,722	3,650,355
受取手形及び売掛金	1,341,267	1,042,537
たな卸資産	127,187	156,531
繰延税金資産	256,607	172,241
その他	1,152,010	344,915
貸倒引当金	—	△514
流動資産合計	7,917,794	5,366,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,542,176	27,891,249
土地	15,587,818	15,585,447
建設仮勘定	1,124,879	1,149,360
その他（純額）	6,123,419	5,845,679
有形固定資産合計	52,378,293	50,471,737
無形固定資産		
その他	137,203	79,933
無形固定資産合計	137,203	79,933
投資その他の資産		
投資有価証券	11,430,725	10,338,808
繰延税金資産	168,382	168,135
その他	302,769	278,201
投資その他の資産合計	11,901,877	10,785,146
固定資産合計	64,417,374	61,336,816
資産合計	72,335,169	66,702,883

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	577,949	379,206
短期借入金	5,810,000	5,810,000
1年内返済予定の長期借入金	321,000	623,461
未払法人税等	908,805	141,729
賞与引当金	131,627	33,365
その他	4,474,317	3,449,458
流動負債合計	12,223,700	10,437,220
固定負債		
長期借入金	10,179,000	9,871,501
繰延税金負債	1,982,846	534,190
退職給付に係る負債	549,596	593,406
長期預り金	24,347,889	24,289,261
その他	670,927	596,303
固定負債合計	37,730,261	35,884,663
負債合計	49,953,961	46,321,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,631	4,730,631
利益剰余金	9,777,318	8,702,677
自己株式	△2,107,856	△2,274,494
株主資本合計	18,453,123	17,211,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,931,470	3,173,680
繰延ヘッジ損益	△3,385	△4,525
その他の包括利益累計額合計	3,928,084	3,169,154
純資産合計	22,381,207	20,380,999
負債純資産合計	72,335,169	66,702,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,200,851	4,986,525
売上原価	3,045,412	3,936,701
売上総利益	1,155,438	1,049,824
販売費及び一般管理費	484,515	503,833
営業利益	670,923	545,991
営業外収益		
受取配当金	128,614	149,268
建設発生日受入金	159,337	160,392
その他	64,287	25,891
営業外収益合計	352,239	335,552
営業外費用		
支払利息	7,926	16,593
その他	739	3,431
営業外費用合計	8,666	20,025
経常利益	1,014,496	861,518
特別利益		
固定資産売却益	99,966	—
特別利益合計	99,966	—
特別損失		
固定資産除却損	44,600	1,236,632
減損損失	—	1,356,662
特別損失合計	44,600	2,593,294
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	1,069,862	△1,731,776
法人税、住民税及び事業税	333,853	140,400
法人税等調整額	15,669	△1,029,415
法人税等合計	349,522	△889,014
四半期純利益又は四半期純損失(△)	720,339	△842,761
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	720,339	△842,761



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	720,339	△842,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	651,877	△757,790
繰延ヘッジ損益	42	△1,139
その他の包括利益合計	651,920	△758,930
四半期包括利益	1,372,259	△1,601,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,372,259	△1,601,692
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,694,941	339,635	166,275	4,200,851	—	4,200,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,423	900	411,695	414,018	△414,018	—
計	3,696,364	340,535	577,970	4,614,870	△414,018	4,200,851
セグメント利益	854,376	218,784	37,216	1,110,377	△439,454	670,923

(注) 1. セグメント利益の調整額△439,454千円には、セグメント間取引消去1,408千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△440,862千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,491,178	349,485	145,861	4,986,525	—	4,986,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,808	900	509,074	511,783	△511,783	—
計	4,492,986	350,385	654,936	5,498,308	△511,783	4,986,525
セグメント利益	742,087	227,328	31,984	1,001,400	△455,409	545,991

(注) 1. セグメント利益の調整額△455,409千円には、セグメント間取引消去△709千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△454,699千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合レジャー事業」セグメントにおいて、当社の所有する船橋オートレース場の諸資産に関して、工作物等を収去のうえ、土地所有者に明け渡すことで合意に達しました。これに伴い、当第1四半期連結累計期間に固定資産の減損損失1,356,662千円を計上しております。